

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		国際交流事業				②事業番号		1322	
③事業類型		8. 人件費事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		—		項		—	
⑨担当部名		総合政策部		⑩担当課名		政策推進課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
独立行政法人国際交流基金関西国際センターからのホームステイ依頼を受けて、ホストファミリー登録者と日程調整を行う。その他機関(りんくう湘南高校等)からも依頼があり、ホームステイ受入れが市民の国際交流の場となっている。		① ホームステイ依頼家庭数		件	
		② ホームステイ受入れ人数		人数	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
ホームステイ受入れが増加することで、市民の国際交流の機会が増える。外国人へ対する親しみや海外へ興味を持つ市民が増える。		① 新規ホストファミリー登録者数		家庭	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
市民が外国語に親しみを持つことで、外国人観光客に対して、おもてなしの心を持ち、観光や産業の振興につながる。また、国際交流に関わる情報提供を充実させることで国際交流の機会がさらに広がり、国際感覚豊かな人材の育成につながる。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 1 市民すべてが平和を希求するとともに、互いの存在を尊重し信頼しあい、いかなる差別もなく、一人ひとりが大切にされる人権文化のまちをめざします			
		施策中 3 国際交流・多文化共生の推進			
		施策小 1 国際交流の推進			

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	
対象指標②								
活動指標①	ホームステイ依頼家庭数	件	10	8	0	0	8	
活動指標②	ホームステイ受入れ人数	人数	19	14	0	0	14	
活動指標③								
成果指標①	新規ホストファミリー登録者数	家庭	0	0	0	0	1	R2は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れできず。
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	81	77	76	76		
	直接事業費	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	81	77	76	76		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	81	77	76	76		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	ABC委員会文化と国際事業部として、ホームステイ受入れを行ったのが始まり。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	現在、国際化が進み、地方観光や産業にとっても国際化が重要視されている。関空を有する市として、国際交流を増やし、市全体での外国人の受入れ体制が必要である。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	ホストファミリー登録者数は横ばいではあるが、市民の国際交流推進に繋がっている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	ホームステイ受入れがあることで、市内でもNPO法人等による国際交流イベントが開催され、地域市民の国際交流の広がりを見せている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	国際交流センター以外の機関からもホームステイ受入れを行うことで、更なる国際交流の機会を充実させる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	類似なし。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	他市では国際交流センターがホームステイ受入れ事務を行っているが本市にはない為、ABC委員会の事務局のあるところが行う必要がある。
--	---------------------------	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	B	ホームステイ受入れを行うことで、市民の国際交流への意欲が高まり、市全体の外国人の受入れ体制強化に繋がっている。今後、今般のコロナウイルス感染症対応も含め、国際交流をどう展開していくかその手法の見直しが必要となる。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 (年まで) エ. 休止 (年から) オ. 廃止 (年から)
	↓ ↓ ↓
<今後の展開方針>	
a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	
今後も継続して、ホームステイの受入れや国際交流イベントを行うことで市民の国際交流への意欲が高まると考える。関西国際センター以外のホームステイ受入れの実施を検討する等の街全体の国際化施策が必要。	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	
新たな機関からのホームステイ受入れは調整が必要となるが、ホストファミリーが受入れやすい環境をつくるが必要である。また、今後新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、インバウンドが徐々に増加することが見込まれる中、できるだけ多くの市民に国際化への取組に興味をもってもらえるよう効果的な施策の実施が必要	